

〈ビジョン編〉

- 第1章 はじめに（背景、趣旨、位置付け、計画期間、特色）
- 第2章 社会経済情勢の変化と札幌（課題、魅力資源）
- 第3章 私たちが目指す札幌市の将来（目指すべき都市像『北海道の未来を創造し、世界が憧れるまち』『互いに手を携え、心豊かにつながる共生のまち』）
- 第4章 まちづくりの基本目標（『地域』『経済』『子ども・若者』『安全・安心』『環境』『文化』『都市空間』の7分野。7つの重要な視点と24の基本目標）
- 第5章 ビジョンの推進に当たって（基本理念『札幌の未来をつなぐ子どもたちのために』と、4つの基本姿勢[市民が主役のまちづくり][まちの活力を高める人づくり][北海道と共に発展する札幌][限りある資源の有効活用と共創]）

〈戦略編〉

はじめに

〈リード文〉 この「戦略編」では、「ビジョン編」を効果的に推進していくために優先的・集中的に展開すべき施策を掲げます。

第1節 戦略編の位置付け

- ◆戦略編はパラダイムの転換が必要となる3つのテーマから導きだされるもの
- ◆第6章「重点戦略」の位置付け（3つのテーマごとにSWOT分析を行い、重点的に取り組む施策を示すもの）
- ◆第7章「都市空間」の位置付け（3つのテーマを重視した将来の都市空間のあり方を示すもの）

第2節 戦略編の構成

- ◆「ビジョン編」と「戦略編」、「重点戦略」と「都市空間」の関係性 〈戦略編全体の概念図〉

第3節 戦略編の展開に当たって

- 1 戦略を支える行財政運営
 - (1) 持続可能な財政運営（ex.都市基盤のマネジメントの必要性、安定的な税源の涵養、受益と負担のバランスの確保 など）
 - (2) 効果的・効率的な行政運営（ex.時代の変化に対応した事業の見直し、組織力を高める取組の推進、様々な主体との連携強化 など）
- 2 戦略の着実な推進
 - (1) 行政資源の集中投下（ex.機構定数や予算の重点化 など）
 - (2) 実施計画の策定（ex.中期実施計画、行財政改革プラン、部門別アクションプランの策定 など）
 - (3) 進捗管理と適切な見直し（ex.弾力的な運用や中間点検による計画の追加・補正 など）

第6章 重点戦略

〈リード文〉 この章では今後10年間に優先的・集中的に取り組むものとして、3つのテーマごとにSWOT分析を行い、8つの戦略を設定します。各戦略では成果指標を設定するとともに、2～4つの柱を立てた上で施策の方向性や想定される主な取組などを掲げます。

第1節 暮らし・コミュニティ

- 『市民が孤立することのない地域づくり』
- 〈①市民の孤立を防ぐ支え合いの環境づくり、②地域に密着した保健・福祉・医療の相談・支援体制の充実、③災害に備えた地域防災体制づくり、④歩いて暮らせるまちづくり〉
- 『すべての市民が社会に参加できる地域づくり』
- 〈⑤地域で共生する環境づくり、⑥子ども・若者を地域全体で育成・支援する環境づくり〉
- 『市民のつながりによる地域資源の創出・活用の推進』
- 〈⑦地域マネジメントの推進、⑧地域活動を活発化する環境づくり〉

※ 各戦略に掲載される事項

1. 戦略のねらい
2. 成果指標
3. 戦略の内容〈各戦略2～4本〉
 - (1) 施策の方向性
 - (2) 想定される主な取組
 - (3) ロードマップ

第2節 産業・活力

- 『新たな価値の創造による産業の高度化』
- 〈①食の魅力を生かした産業の高度化、②魅力あるまちづくりと観光振興の一体的推進、③エネルギー転換に対応した環境産業の創造④超高齢社会に対応した健康・福祉産業の創造、〉
- 『道内循環を高め、道外需要を取り込むための手法と基盤づくり』
- 〈⑤世界の活力を取り込む国際戦略の積極展開、⑥創造性を活かしたイノベーションの誘発、⑦広域連携ネットワークの強化と投資環境の充実、⑧シニアプロモート戦略の積極展開〉
- 『将来の札幌経済を支える人材の育成・活用』
- 〈⑨将来を担う創造性豊かな人材の育成・活用、⑩市民の潜在的な力の活用〉

第3節 低炭素社会・エネルギー転換

- 『環境負荷の少ない都市構造の形成』
- 〈①持続可能な集約型の都市構造への強化、②持続可能な都市を支える交通体系の確立、③自然と共生する都市づくりの推進〉
- 『都市のエネルギー利用効率と安定性を高める総合的な施策の展開』
- 〈④次世代エネルギーシステム普及の促進、⑤自立分散型エネルギーネットワークの展開、⑥市民・企業による環境負荷低減の取組みの推進、⑦循環型社会の構築〉

第7章 都市空間

〈リード文〉 この章では、重点的に取り組む必要のある3テーマを重視した持続可能な将来の都市空間のあり方を掲げます。

第1節 札幌の現状と将来を展望した動向・都市課題（概ね20年先を展望）

- 1 都市空間の現状と課題
 - (1) 都市基盤・防災力
 - (2) 暮らし・コミュニティ
 - (3) 魅力・活力
 - (4) 環境
- 2 踏まえるべき視点
 - (1) 道内他都市との連携
 - (2) 創造的な活動の展開

第2節 目指すべき都市空間の姿

- 1 目指すべき都市空間
 - 持続可能な札幌型集約連携都市
- 2 将来の都市空間の姿
 - (1) 市街地
 - (2) 都心
 - (3) 拠点
 - (4) ネットワーク
 - (5) 都市基盤・防災力

第3節 施策・取組の方向性（今後10年の取り組み）

- 1 魅力ある市街地への再構築
 - (1) 複合型高度利用市街地
 - (2) 郊外の市街地
- 2 魅力的で活力のある都心のまちづくり
- 3 多様な交流を促す拠点の創出
 - (1) 地域交流拠点
 - (2) 高次都市機能交流拠点
- 4 ネットワークの強化
 - (1) 交通ネットワーク
 - (2) エネルギーネットワーク
 - (3) みどり空間ネットワーク
- 5 都市マネジメントの推進
 - (1) 都市基盤の効率的な維持保全
 - (2) 防災力の高いまちづくり